

# スイカでスカっと

青果育種研究会  
仙台の仮設住宅で提供

東日本大震災の被災者に暑さを和らげてもらおうと、全国の種苗会社などでつくる青果育種研究会(東京)は22日、仙台市若林区の若林日辺グラウンド仮設住宅に約200食分のスイカを届けた。

スイカは奈良県の種苗会社5社が用意した。研究会と仙台市中央卸売市場、青果卸の宮果(若林区)の職員らが切り分け、住民に振る舞った。

子どもたちは一番大きいスイカを使い、スイカ割りに挑戦した。周りから「もう少し前、そこ、そこ」などと声が飛び、盛り上がった。住民は「甘くておいしい」と笑顔を見せながらスイカを頬張った。

スイカ割りをした蒲町小4年の稲垣慶大君(9)＝若林区＝は「(仮設住宅で暮らす)おばあちゃんの家泊りに来た。スイカを割ることができてうれしかった」と話した。研究会などによるスイカの提供は、荒井小学校用地仮設住宅(若林区)でも行われた。



差し入れのスイカを笑顔で味わう住民＝仙台市若林区の若林区日辺グラウンド仮設住宅